

開催中！
特別展「池田あきこ原画展」



そらんぽ四日市
ホームページ

博物館では、開館30周年記念特別展「池田あきこ原画展～ダヤンとアベコベアの月～」を、当館4階特別展示室で6月4日(日)まで開催しています。

絵本作家・池田あきこが生み出した、猫のダヤンと、ワニのイワンやウサギのマーシィらが住む架空の国「わちふいーるど」は、妖精や魔女が活躍する不思議な世界です。本展では、「わちふいーるど」の世界を感じられる、絵本の原画や貴重なラフコンテ、革でつくられたジオラマ、さらには最近の創作であるダンボールの立体作品などを展示しています。作品から、質感や生き生きとしたキャラクターの表情を感じ

てください。

また、ミュージアムショップでは、猫のダヤンをはじめとした書籍や版画、革製品などたくさんの展覧会関連グッズをご用意しています。

池田あきこが生み出したダヤンの魅力あふれる物語と、「わちふいーるど」の世界観を会場でお楽しみください。



月と月見草 2010年
／©Akiko Ikeda
／Wachifield Licensing,Inc.

☎ 博物館・プラネタリウム (TEL) 355-2700 (FAX) 355-2704

弁慶だけじゃない！義経を支えた人物とは

みなさんは、昨年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場した伊勢三郎義盛をご存知でしょうか。一説によると三重郡出身とされていますが、鎌倉幕府の記録である「吾妻鏡」には義盛の出自について書かれていないため、はっきりとしたことは分かっていません。

義盛は、源義経の家来で、源平合戦などで軍功をあげましたが、後に義経らとともに源頼朝に追われる身となり、文治2(1186)年、京で捕えられ処刑されたといわれています。その首を家来が持ち帰り、義盛が一時居を構えた川島の地に埋めました。

川島神明神社の前には、その首を埋めた「三郎塚」があります。

義盛の菩提を弔う墓と伝わる「宝篋印塔」は、慶安4(1651)年、亀山領主・石川昌勝が塚を発掘し、遺骨を移して川島町の西福寺に作ったといわれています。

初夏の陽気を感じながら、川島周辺を散策してみたいはいかがでしょうか。



伊勢三郎義盛の首塚

☎ 文化課 (TEL) 354-8240 (FAX) 354-4873